

すべての子どもにゆきとどいた教育を すすめるための請願書

高知県議会議長 様
紹介議員

請願代表者 住所
氏名

以下 名

請願趣旨

日本国憲法・子どもの権利条約・高知県こども条例を教育現場に活かし、教育の条理に基づいて、一人ひとりの子どもたちに豊かな学力を保障し、可能性を伸ばす教育を実現することは、子どもたちはもちろん、保護者・国民の心からの願いであり、日本社会の希望です。

高校授業料無償化が3年を経過し、国の責任による小学校1年生の35人以下学級も2年が過ぎました。しかし、今なお、日本の教育関連予算はOECD主要国の中でも最低レベルであり、家庭に教育費の負担が大きいのしかかっています。「貧困と格差」が広がる中で、子どもたちも保護者も、お金の心配なく、安心して学ぶための施策の充実が欠かせません。

高知県では学校統廃合が進んでいます。子どもたち一人ひとりの教育を受ける権利の保障と、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、以下の事項を請願します。

教育予算の増額、教育費の無償化、 父母負担軽減、教育条件の改善を もとめる請願

衆議院議長 様
参議院議長 様

紹介議員

請願代表者 住所
氏名

以下 名

<請願趣旨>

少人数学級は、小学校2年生まで35人以下学級となりましたが、ほとんどの地方自治体は独自の努力で小学校3年生以上の学年および中学校に広がっています。地方のとりくみまかせにせず、国が責任をもって少人数学級を計画的にすすめ、必要な正規教職員を増やすことがもとめられます。

一昨年度から始まった「高校無償化」は、すべての高校生が希望を持って学び続けるための大事な支えとなっています。しかし、私立高校では授業料の一部軽減にとどまっており、家庭の負担は大きなものがあります。今年度は「高校無償化」の見直しがおこなわれる年にあたり、公私ともに授業料の完全な無償化をめざした施策の拡充がもとめられます。緒についた「教育費無償化」の流れを後退させることは決して認められません。

貧困と格差が広がる中、返還不要の「給付制奨学金」をもとめる声も切実です。そもそも、奨学金は「貸与」ではなく「給付」が、国際的にも当たり前です。高校生・大学生が経済的な理由で進学をあきらめることのないように、奨学金制度の抜本的改善が必要です。

東日本大震災・福島原発事故発生から1年以上経過しましたが、被災地の子どもたちや父母、教職員への支援や心のケア、そして、学校・地域の復旧・復興は、決して十分ではありません。国は、現地の声に真摯に耳を傾け、長期的かつ継続的な予算措置を講じるべきです。

「ゆきとどいた教育をもとめる全国署名(教育全国署名)」は、昨年度までの23年間で4億1千万筆に達し、全国の父母と教職員、高校生、地域の人々の願いが込められたものです。子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくるために、以下のことを請願します。

子どもと教育を守る高知県連絡会(子連)
高知市丸の内二丁目一〇
電話 〇八八・八三・四一三五

請願項目〔国会用〕

- 1、ゆきとどいた教育の実現のため、国の教育予算を大幅に増やしてください。
- 2、国の責任で小・中学校、高校の30人以下学級の実現と、そのために必要な教職員定数を改善してください。
- 3、お金の心配なく子どもたちが安心して学べるよう、教育費の無償化をすすめ、学校教育にかかる父母負担を軽減してください。
 - ①小・中学校、高校の教育活動に必要な教材費や給食費など、学校納付金を無償にしてください。
 - ②「高校無償化」を後退させず、公立高校の授業料不徴収を完全実施し、私立高校の実質無償化をめざし就学支援金制度を拡充してください。
 - ③私学助成を増やし、父母負担の軽減をすすめてください。
 - ④高校・大学生への返済不要の「給付制奨学金」を創設してください。
 - ⑤国際人権規約の「高校・大学の無償化をすすめる条項」の留保を撤回し、大学の学費無償化に踏み出してください。
- 4、全国どこでも、豊かな教育条件のもとで学べるように、改善をすすめてください。
 - ①子どもたちとふれ合う時間を確保するため、公私ともに専任の教職員を増やしてください。
 - ②障害のあるすべての子どもたちの教育の充実のため、教職員を増やし、教育条件を整備してください。とくに、障害児学校の「設置基準」をつくり、過大・過密を解消してください。
 - ③学校の耐震化を早急にすすめるとともに、地域における防災対策や避難所の機能整備をすすめてください。
- 5、東日本大震災・福島原発事故の被害から子どもを守り、学校と地域の復旧・復興をすすめてください。

氏名	住所
	高知県
	高知県
	高知県
	高知県
	高知県

国会用・県議会用の両方に署名してください

募金

請願項目(県議会提出)

1. 学校予算を増額し、学校徴収金を含め教育費の保護者負担を軽減してください。
2. 現在行われている県独自の小学校1・2年生・中学校1年生の30人、小学校3・4年生の35人以下学級を維持するとともに、それ以降の学年についても改善を行ってください。また、国の責任で少人数学級をより一層実現するよう、はたらきかけてください。
3. 県独自で行われている小学校1年生の単式化、飛び複式学級の解消を一層すすめてください。また、複式学級基準の引き下げを国にはたらきかけてください。
4. すべての子どもが安心して教育を受けられるように、奨学金制度を拡充してください。
5. 高校授業料無償化の継続を国に要望するとともに、県内の一部自治体で行われている通学費等の援助を県として行ってください。
6. 私学助成を拡充し、保護者負担を軽減してください。
7. 障害のあるすべての子どもたちの教育を充実させるため、特別支援学校の過大・過密を解消するとともに、特別支援学校の「設置基準」をつくるよう、国にはたらきかけてください。

氏名	住所
	高知県
	高知県
	高知県
	高知県
	高知県